ホームシアター入門

本書「ホームシアター入門」をご覧いただくだけで、簡単にマルチチャンネル再生を楽しむことができます。

STEP1 ホームシアターの基礎知識

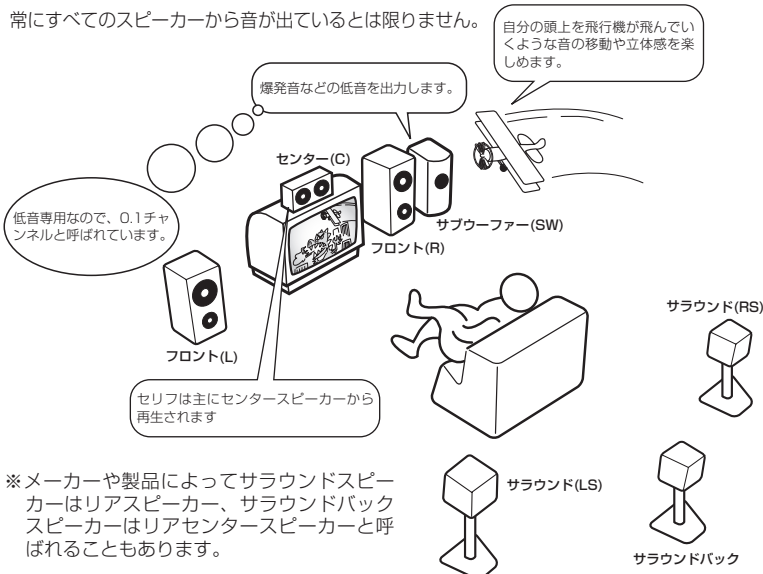
マルチチャンネルサラウンド再生とは…

① ドルビーデジタル 5.1ch または DTS サラウンド再生

ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)またはDTSサラウンドで記録されているDVDソフトは、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音が再生されます。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感や臨場感あふれる音場を楽しむことができます。この再生をするにはデジタル接続が必要です。

② ドルビープロロジック IIx または DTS Neo:6 再生

CD などの一般的なステレオソフトやドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)またはドルビーステレオ(DOLBY STEREO)で収録されている２チャンネル信号のソフトを５本(または６本)のスピーカーで再生することができます。この２チャンネル信号からセンター、サラウンド(右／左)、サラウンドバックなどの音を作り出します。

※メーカーや製品によってサラウンドスピーカーはリアスピーカー、サラウンドバックスピーカーはリアセンタースピーカーと呼ばれることもあります。

DVD ソフトの音声記録方式(フォーマット)を知るには？

多くのDVDソフトでは、パッケージ(裏面)に以下のように表示されています。１枚のディスクに２～３種類の音声が収録されていることが多く、聴く音声を選ぶことができます。

例） ③)))

1. 英　語 (5.1ch サラウンド) — DOLBY DIGITAL

2. 日本語 (ドルビーサラウンド) — DOLBY SURROUND

3. 英　語 (DTS 5.1ch サラウンド) —

収録音声数　　記録方式　　音声記録方式(フォーマット)

STEP2 デジタルサラウンドへの近道

すでに設定が変更されているときは、設定を工場出荷時に戻して(取扱説明書48ページ)から以下の操作を始めることをおすすめします。

注意

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

本機にスピーカーとサブウーファーを接続する

スピーカー端子のレバーを上下に開いてコードを差し込んでください。接続後はレバーを元に戻してください。

接続する前に、スピーカーコードの⊕の両端に同じラベルを貼っておくと接続先が一目でわかり便利です。

市販のスピーカーコード

市販の音声ケーブル

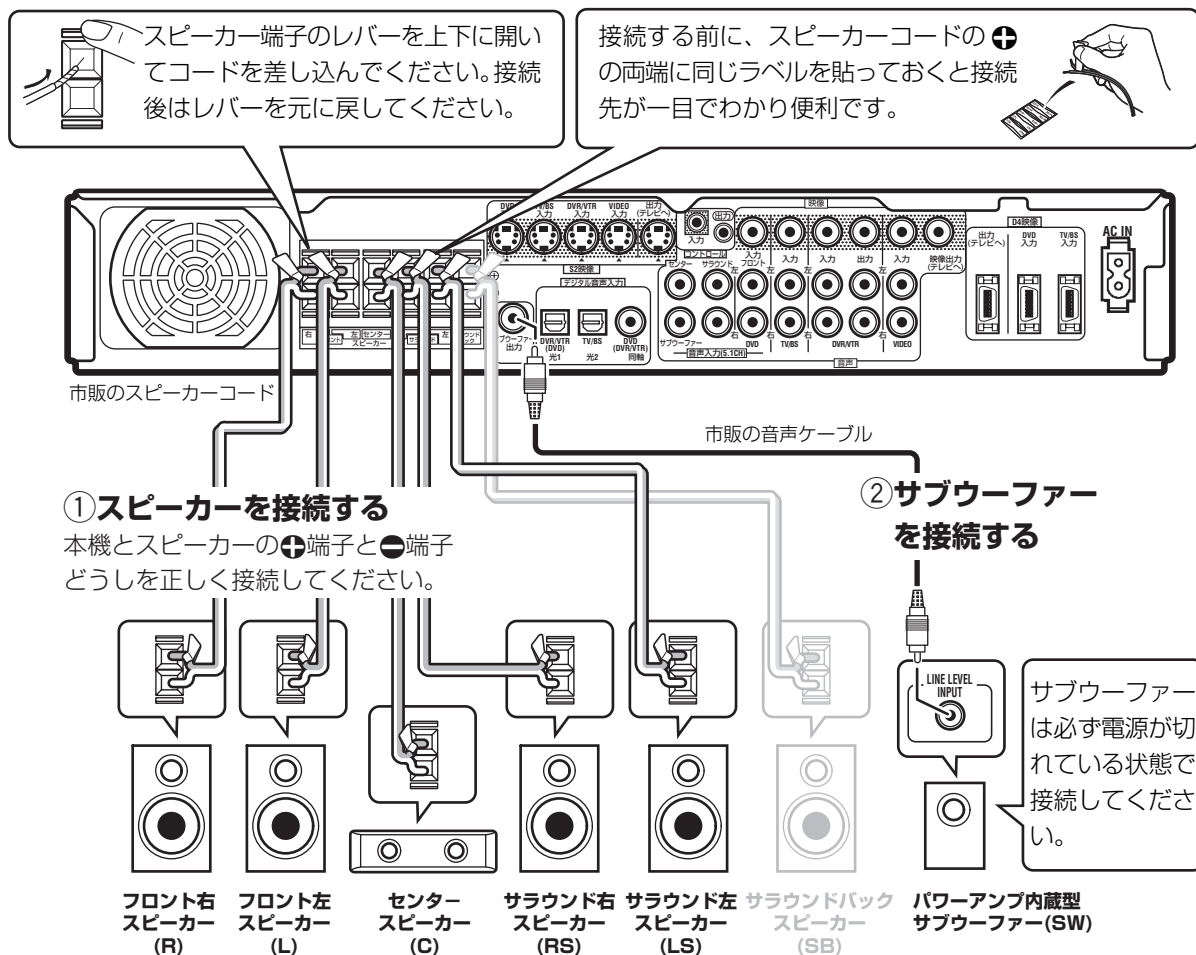
①スピーカーを接続する

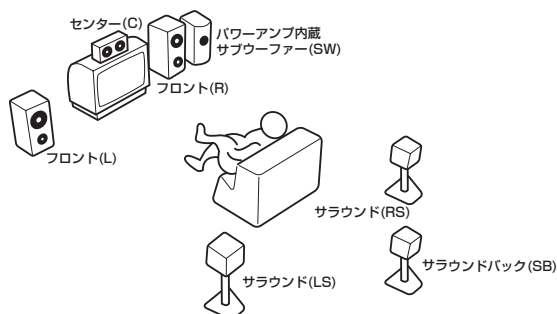
本機とスピーカーの⊕端子と⊖端子どうしを正しく接続してください。

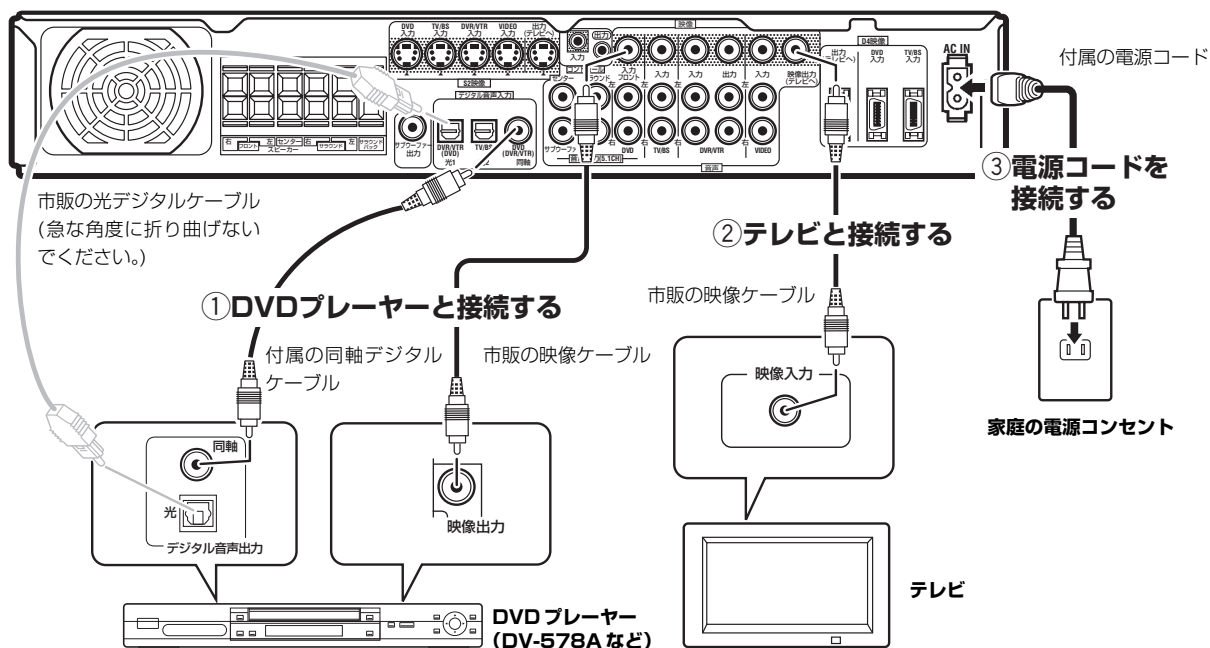
②サブウーファーを接続する

LINE LEVEL INPUT

サブウーファーは必ず電源が切れている状態で接続してください。

フロント右スピーカー(R)　フロント左スピーカー(L)　センタースピーカー(C)　サラウンド右スピーカー(RS)　サラウンド左スピーカー(LS)　サラウンドバックスピーカー(SB)　パワーアンプ内蔵型サブウーファー(SW)

例)　サラウンドバックスピーカーを使用するときの配置

サラウンド効果を最大限に発揮するためには右の図のようにスピーカーを配置してください。

2 本機にDVDプレーヤーとテレビを接続する

DVDプレーヤーにデジタル出力端子がついていないとき、または光デジタル端子を接続するときは取扱説明書 14ページをご覧ください。

3 DVDソフトを再生してデジタルサラウンドを体験する

1 本機の電源を入れる

- ⏻STANDBY/ON ボタンを押します。
- 表示部に[DVD]と表示されていないときは、入力切換つまみ(INPUT SELECTOR)またはリモコンのDVDボタンで[DVD]を選んでください。

2 サブウーファー、DVDプレーヤー、およびテレビの電源を入れる

3 テレビの入力を切り換える

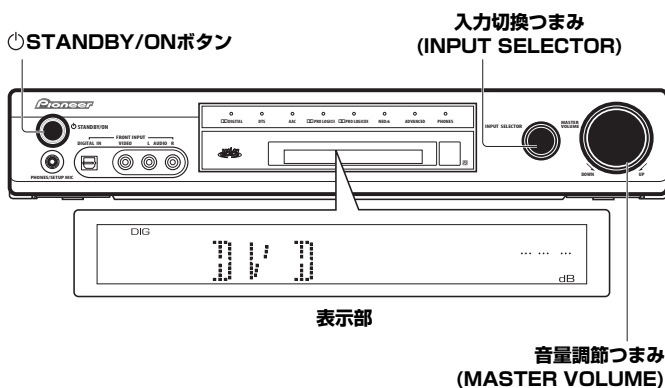
本機からの出力映像がテレビ画面に映し出されるように入力を切り換えてください。

4 DVDの音声を設定する

5 DVDの再生を始める

DVDの再生のしかたについてはDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

6 音量を調節する

適当な音量になるまで音量調節つまみ(MASTER VOLUME)を右(UP方向)へ回します。リモコンの音量＋ボタンでも調節することができます。

下記設定を確認してください。

①DVDプレーヤーのデジタル出力

ドルビーデジタル 、DTS、および96 kHz PCMの音声信号が出力されるように設定してください。

※本機はMPEG音声に対応していません。PCM音声が出力されるように設定してください。

②DVDソフトの音声の確認

DVDソフトのメニュー画面やDVDプレーヤーの音声切換操作で音声(5.1chサラウンドまたはドルビーサラウンドなど)を選んでください。

これで入門編は卒業です。よりクリアで迫力あるDVDを楽しむため、MCACCを体験してみましょう。

★ ホームシアター達人への道 ★

その① **MCACC 設定**(取扱説明書 24 ページ)
従来難しいとされてきた設定を自動かつ高精度に測定して設定することができます。スピーカーから出力されるテストトーンを付属の MCACC 設定用マイクで感知してリスニング環境を解析します。

その② **システム設定**(取扱説明書 37 ～ 48 ページ)
最適なリスニング環境をつくるための各種設定を行うことができます。

その③ **いろいろな使いかた**(取扱説明書 27 ～ 36 ページ)
さまざまな音場 / 音質を選んで、お好みのサウンドで楽しむことができます。

STEP3 困ったとき <Q&A>

Q1 視聴していたら突然電源が切れてしまった。

A 「OVERLOAD」と点滅表示されていませんか？
「音量が大きすぎる」または「スピーカーコードがショート(接触)していている」可能性があります。「音量が大きすぎる」ときは音量を小さくしてください。「スピーカーコードがショート(接触)している」ときは、スピーカーコードの芯線を再度しっかりねじり直して、スピーカー端子からはみ出ないように接続してください。

Q2 光デジタル音声入力端子に DVD プレーヤーを接続したが音が出ない。

A デジタル音声端子の入力を切り換えてください。取扱説明書 45 ページ「同軸デジタル端子と光デジタル端子(光 1)の入力切換設定」をご覧ください。

Q3 フロントスピーカーからしか音が出ない。

A ドルビーデジタルや DTS などのマルチチャンネル音声を再生していますか？
DVD ソフトのメニュー画面や DVD プレーヤーの音声切換操作でマルチチャンネル音声を選んでください。

A CD を再生していませんか？
リスニングモードを「オート」に設定して CD などの 2ch 音声で収録されているソフトを再生すると、2ch のまま再生されます(取扱説明書 27 ページ)。リモコンで「サラウンドモード」または「アドバンスドモード」を選んでください(取扱説明書 29 ページ)。

Q4 音が出ないスピーカーがある。

A 接続したすべてのスピーカーからテストトーン(ザーという音)が出力されているか確認してください(取扱説明書 36 ページ)。テストトーンが出力されないスピーカーがあるときは、接続を見直し、STEP2 の 3 からをやり直してください。

A フォーマットインジケーターで、「音が出る設定になっているスピーカー」と「入力している圧縮音声信号」を確認してください(取扱説明書 22 ページ)。思った通りに音が出ないときは、取扱説明書の以下のページをご覧ください。
「入力機器の設定を確認する」(取扱説明書 22 ページ)
「リスニングモードの種類と効果について」(取扱説明書 27 ～ 28 ページ)

すべてのスピーカーから音が出る設定となっていて、マルチチャンネル信号を入力している状態のフォーマットインジケーター

A サラウンドバックモードが OFF になっている。

A 本機のすべての設定を初期状態に戻して(取扱説明書 48 ページ)、STEP2 の 3 からやり直してください。